

かなざわ 7月号

令和元年6月28日

横浜市立金沢小学校

金沢区町屋町26-26

☎781-2401

子どもの安全を考える

学校長 中山 光恵

梅雨とは言え、しとしと雨が降り続くこともなく、今年は天気の良い日の方が多いように感じます。大雨の月曜日が振替休日だったこともあり、本校では、19日のプール開きから入水できなかったのは1回だけでした。プールに入るには、規定以上の水温と気温を要します。毎年、梅雨のこの時期は、プール開きをしても温度が上がらずに入水できない日の方が多かったのですが、今年は気持ちがいいくらい、プール日和の日が続いています。そして、逆に心配なのが、熱中症。先日、学校の熱中症対策についてのお便りを出させていただきましたが、ご家庭でも健康管理に加えて、水筒持参、帽子着用等、ご配慮くださるようお願いいたします。

さて、このところ、子どもたちの安全について、深く考えさせられる機会が多くありました。大津の保育園児の事故や川崎の登校中の事件、お茶の水女子大附属中の不審者侵入、犯罪容疑者や不審者の逃走など、子どもたちの生命や心身等に危害をもたらす様々な事件事故から、いかにして子どもたちを守るかは、大きな課題ではありますが、何より優先して行われなければならないことです。学校においては、登下校の交通安全、不審者対応、火災や地震、豪雨などの災害の備え、健康面への注意、学校施設の安全点検整備など、様々な観点で子どもたちを守る対策を立てたり、訓練をしたりしています。

6月25日、「不審者対応訓練」を行いました。金沢警察のスクールサポーターに不審者役をお願いし、その訓練での対応の仕方をご指導いただきました。また、毎月行っている避難訓練では、様々な場面を想定して実施しています。地震の場合や火災の場合、その発生場所を違えたり、時間も授業中だけでなく休み時間にしたり、予告をして指導した上で行う場合もあれば予告なしで行うこともあります。訓練を重ねることで、どのような状況でも、迅速かつ適切な対応ができることを目指しています。

歩行中の交通事故は、「小学1年生が際立って多い」と言われています。入学を機に親から離れての行動が増えること、外歩きの経験が浅く危険を察知する力がまだ十分でないことなども一因のようです。また、年齢が上がるにつれて歩行中の事故は減る一方で、自転車乗用中の事故が増えていきます。学校では、6月14日に「交通安全教室」を行いました。校庭に模擬道路をつくり、警察と交通安全協会にお願いして、1年生は安全な歩き方、3年生は自転車の安全点検の仕方と安全な乗り方をご指導いただきました。1・3以外の学年は、ビデオで交通安全について学習しました。学んだことが定着するようにしたいです。

6月13日には、「スクールゾーン対策協議会」を開きました。区役所、警察署、土木事務所の方々にお越しいただき、また各町内会・自治会の会長・子ども会会長・地区委員とPTA役員にもご参加いただいて、学校の通学区域内の危険場所について改善策を協議しました。今年2月に野島の歩者分離式信号機が設置されたのも、長年に渡り、スクールゾーン対策協議会で話し合っていたおかげです。地域の皆様には日頃より登下校の見守り等、多大なるご協力をいただいています。ありがとうございます。

これからプール日和が続きます。水泳学習をはじめ、今後も子どもの安全・安心に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の変わりないご支援、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

いかのおすし

- ① つかない
- ② らない
- ③ おごえをだす
- ④ すぐにげる
- ⑤ らせる